

事後評価概要資料

番号	1002	担当課名 河川砂防課																			
事業名	防災調節池事業		事業主体	埼玉県																	
路線・河川・地区名	吉川美南調節池 (一級河川第二大場川)		事業箇所名	吉川市																	
事業完了年	平成 22 年度		事業完了後の経過年数	2 年																	
事業概要	目的	第二大場川流域で発生している浸水被害の軽減を図る。																			
	必要性	第二大場川流域は、江戸川右岸堤と中川左岸の自然堤防に囲まれた低平地であり、小降雨でもしばしば浸水被害が生じた。近年、吉川駅南特定土地区画整理事業など流域でのまちづくりが進んだことから、浸水被害軽減を担う調節池整備が下流河川の整備に先行して必要となった。																			
	効果	調節池の供用開始により、第二大場川上流域における浸水被害の軽減が図られた。																			
	事業内容	総事業費	3,530 百万円	事業期間	平成 3 年～平成 22 年 (20 年間)																
	面積 : 5.2ha 貯水容量 : 135 千 m ³ 主な内容 : 掘削工、地盤改良工、遮水工、越流堤、排水機場、樋管工、連絡水路																				
事業概要図																					
事後評価項目	事業の効果の発現状況	<p>○吉川美南調節池整備後の第二大場川における浸水実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>発生年月日</th> <th>浸水戸数(戸)</th> <th>浸水面積 (ha)</th> <th>降雨状況(吉川観測所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22.9.26</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>185mm/48hr</td> </tr> <tr> <td>H23.9.22</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>101mm/48hr</td> </tr> <tr> <td>H24.5.2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>122mm/48hr</td> </tr> </tbody> </table>				発生年月日	浸水戸数(戸)	浸水面積 (ha)	降雨状況(吉川観測所)	H22.9.26	0	0	185mm/48hr	H23.9.22	0	0	101mm/48hr	H24.5.2	0	0	122mm/48hr
	発生年月日	浸水戸数(戸)	浸水面積 (ha)	降雨状況(吉川観測所)																	
	H22.9.26	0	0	185mm/48hr																	
H23.9.22	0	0	101mm/48hr																		
H24.5.2	0	0	122mm/48hr																		
効果分析の要因の変化	<p>○再評価時 (H12) との比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体事業費 2,900 百万円 → 3,530 百万円 (630 百万円増) ・B/C 3.07 → 3.11 (0.04 増) ・流域の人口、世帯数、市街地面積の増加 																				
事業実施による副次的効果	吉川駅南特定土地区画整理事業と一体的に整備する中で、吉川市美南中央公園と連続性を持たせることにより、都市部の貴重な水辺空間として多くの住民に利用されている。																				
評価結果及び考察	<p>(評価結果)</p> <p>○平成 22 年 9 月、平成 23 年 9 月、平成 24 年 5 月の豪雨時に、吉川美南調節池で洪水調節が行われ、第二大場川流域では浸水被害が確認されておらず、整備効果が確認された。</p> <p>(考察)</p> <p>○下流河川の整備が進まない中での、上流部の調節池の先行整備ではあるが、整備効果は確認された。今後も、従来どおりの下流側からの河川整備と合わせ、上流部の調節池の先行整備を流域全体の浸水被害の早期解消の手法の一つとして活用していく。</p>																				
特記事項																					